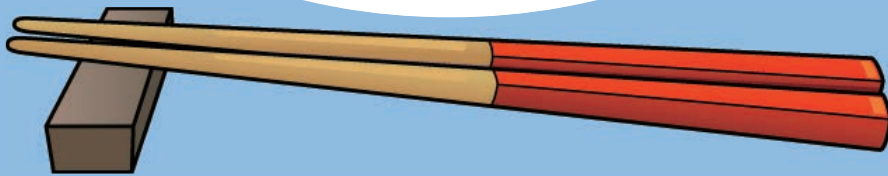
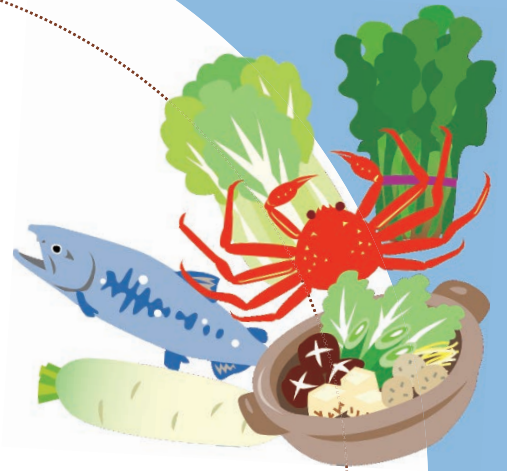


# 食 べ る



口から食べることは  
生命をはぐくむ根幹である  
美味しく食べることは  
今ここにある喜びを  
噛みしめることであり  
生きる希望である  
口から食べて幸せに暮らせる  
優しい社会になるよう  
力を注ぎたい！

■理事長挨拶・会員情報

■実技認定者一覧・会員募集のお知らせ

■トピックス

■活動紹介 熊本

■第5回全国大会のお知らせ

## 理事長挨拶



NPO 法人口から食べる幸せを守る会  
理事長 小山 珠美

霜寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から当会の活動におきまして、多大なるご理解・ご高配を賜り深く感謝申し上げます。

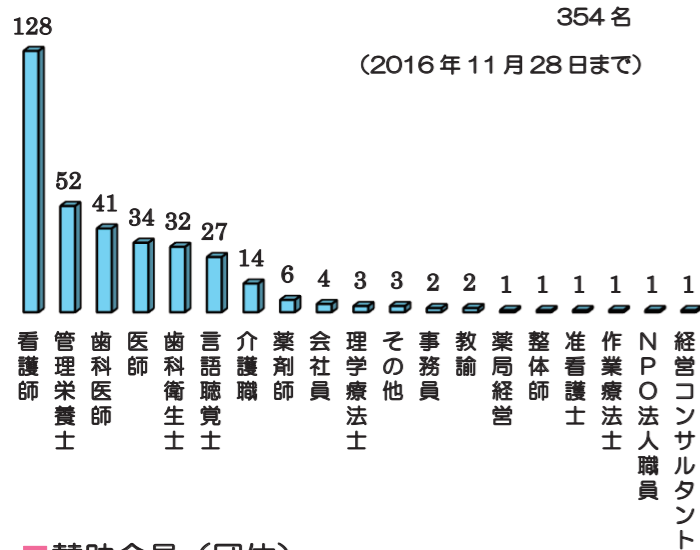
この4年間の歩みによって、ようやく食べる支援の輪が広がりを見せている実感がわきます。加えて、臨床的な実践レベルからエビデンスレベルとしても発展しています。食べることは生命の希望を伸ばすことだけでなく、“人々への幸福をもたらす”ということがサイエンスとして実証されつつあります。とはいえ、現況の医療や福祉の現場では、口から食べたい願いが叶わず、点滴や胃ろう栄養のみという方々も大勢いらっしゃいます。事務局には、食べる支援を求めているという困窮のメールが未だ多く寄せられています。つまりは、さらなる社会全体の食べることへの意識変革と、食支援の進化が必要ということに他なりません。

第5回全国大会を2017年7月1日（土）横浜市教育会館で開催予定です。スローガンは「食べる支援の進化を目指して！」です。皆様と一緒に、スキルを進化させ、食べ続けることができる優しい高齢社会を目指していきましょう。多くの方々のご参加をお待ちしております。



## 会員情報

### ■正会員（個人）



### ■正会員（団体）

NPO 法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会/秋田  
井荻歯科医院/東京  
気仙沼市立本吉病院/宮城  
ナチュラルスマイル西宮北口歯科/兵庫  
紀州リハビリケア訪問看護ステーション/和歌山  
医療法人社団拓美会朝仁歯科医院/鹿児島  
特別養護老人ホームおおうち/秋田  
医療法人 佐藤病院/秋田  
医療法人 恵愛会 中村病院/大分  
特別養護老人ホーム あさざり/島根  
医療法人緑会 小川病院/徳島  
有限会社 ベース/青森

### ■賛助会員（団体）

- ・カイゲンファーマ株式会社
  - ・株式会社ヘルシーネットワーク
  - ・株式会社クリニコ
  - ・ニュートリー株式会社
  - ・株式会社天柳
  - ・ラックヘルスケア株式会社
  - ・株式会社東京技研
- (50音順)

## KTSM 実技認定者一覧

(2016年11月30日現在)

氏名	都道府県	職種	氏名	都道府県	職種
1 小山 珠美	神奈川	看護師	30 児玉 秀樹	兵庫	歯科医師
2 安西 秀聡	神奈川	医師	31 山廣 芳枝	大阪	看護師
3 竹市 美加	広島	看護師	32 宮田 栄里子	和歌山	看護師
4 一瀬 浩隆	愛知	歯科医師	33 砂山 明子	東京	看護師
5 谷 恭子	石川	歯科衛生士	34 上野 美幸	山梨	看護師
6 近藤 奈美	愛知	看護師	35 押目 美幸	岡山	看護師
7 金 志純	東京	看護師	36 小椋 いずみ	岡山	管理栄養士
8 大石 朋子	神奈川	看護師	37 下田 加奈	熊本	看護師
9 川端 直子	広島	看護師	38 山下 裕史	熊本	言語聴覚士
10 黄金井 裕	神奈川	言語聴覚士	39 山路雅美	兵庫	管理栄養士
11 加藤 節子	沖縄	看護師	40 熊谷 良弘	宮城	看護師
12 杉本 みほ	広島	看護師	41 小山 竜也	宮城	介護職
13 藤井 博美	広島	看護師	42 井上久美子	兵庫	管理栄養士
14 佐藤 さと子	宮城	看護師	44 野口 晃	石川	医師
15 山崎 綾子	宮城	管理栄養士	45 榎本 淳子	熊本	MSW
16 三束 梨沙	宮城	言語聴覚士	46 平尾 由美	岡山	言語聴覚士
17 井野 美穂子	熊本	看護師	47 剣持 君代	群馬	看護師
18 大城 清貴	沖縄	看護師	48 佐藤 作喜子	神奈川	管理栄養士
19 禱 真人	沖縄	看護師	49 前田 有紀子	秋田	看護師
20 嶋津 さゆり	熊本	管理栄養士	50 佐々木 美代子	宮城	看護師
21 赤嶺 幸乃	沖縄	看護師	51 平野 宏一	熊本	看護師
22 小野寺 裕子	宮城	看護師	52 安部 幸	大分	看護師
23 為季 周平	兵庫	言語聴覚士	53 高橋 瑞保	山形	管理栄養士
24 白坂 誉子	千葉	看護師	54 菅 康德	秋田	医師
25 甲斐 明美	神奈川	看護師	55 居出 香	京都	管理栄養士
26 近藤 泰子	広島	看護師	56 齋 健太郎	東京	看護師
27 山下 ゆかり	東京	歯科衛生士	57 田平 佳苗	熊本	看護師
28 大谷 愛子	東京	歯科医師	58 小菅 一弘	秋田	歯科医師
29 谷合 久憲	秋田	医師			



## 2017年度会員募集開始

NPO 法人口から食べる幸せを守る会は、正会員・賛助会員を募集しております。2017年度の会員申込みを開始いたしましたので会員の皆様には引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

ホームページ：<http://ktsm.jimdo.com/>





## Multi-disciplinary comprehensive care for early recommencement of oral intake in severe pneumonia

南相馬市立総合病院  
社本 博



### 重症肺炎で早期経口摂取を開始するための集学的包括支援

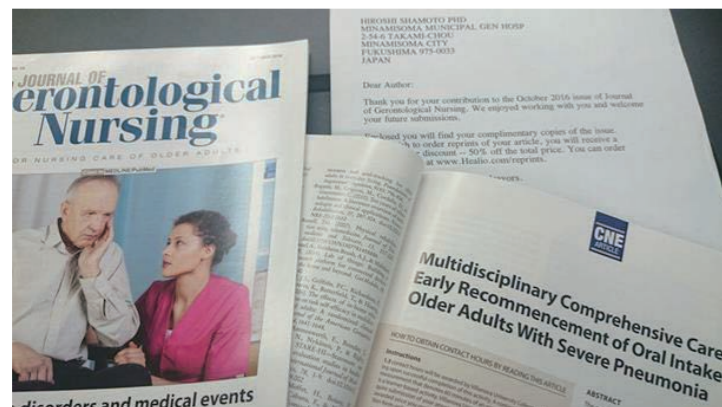
【目的】高齢者の重症肺炎は、入院時に禁食・安静指示が少なくない。そこで高齢者重症肺炎で早期経口摂取と早期退院を目的とした集学的包括支援（MDCC）を行いその効果を検討した。

【方法】2011年4月から2014年3月に入院しMDCCを行った65歳以上肺炎370例（MDCC群：女164例、男206例、82.7±8.4歳）と2005年4月から2006年3月でMDCCを行わなかった101例（非MDCC群：女45名、男56名、81.1±8.6歳）を比較した。MDCC群は入院早期に多職種構成チームが誤嚥リスク、身体・嚥下・口腔・認知機能、栄養状態などを評価し、早期離床、セルフケア介助、リハビリテーション治療、食形態調整、栄養療法など多面的に介入した。包括的・多面的介入の有無、年齢、性別、意識レベル、肺炎重症度、発症前自立度、退院先で調整した多変量解析でFunctional Oral Intake Scale 4以上の全量経口摂取レベルで退院するまでの期間に影響を及ぼす因子を検討した。

【結果】単変量解析を行うと、MDCC群は入院時の肺炎重症度が高く、入院前のADLも悪く、自宅退院が困難な症例が多かったが、入院期間や退院時までの経口摂取再獲得率は両群に差がなかった。そこで重回帰分析を行ったところ、MDCC（標準化係数（β）：-0.11、95%信頼区間（95%CI）：-9.16, 0.66、p=0.02）、軽症肺炎（β：-0.15、95%CI：-5.87, 1.25、p<0.01）、発症前の高自立度（β：-0.11、95%CI：-3.69, -0.16、p=0.03）、退院先自宅（β：-0.19、95%CI：-10.17, -3.42、p<0.001）が入院期間に影響を及ぼす独立因子となった。Cox回帰分析による経口摂取退院に影響を及ぼす独立因子は、MDCC（ハザード比（HR）：1.42、95%CI：1.09, 1.85、p=0.01）、軽症肺炎（HR：1.246 95%CI：1.08, 1.25、p<0.001）、発症前高自立度（HR：1.25、95%CI：1.13, 1.25、p<0.001）、自宅退院（HR1.49、95%CI 1.21, 1.85、p<0.001）であった。

【考察】MDCCは高齢者肺炎入院後の禁食・安静が原因の廃用症候群やサルコペニア嚥下障害を予防しうる。入院早期から適切なリスク評価・管理に基づく適時かつ安全な介入により入院期間短縮と経口摂取退院の実現が可能である。

【総括】早期経口摂取開始には嚥下リハビリテーション治療など機能的な視点だけでなく、全身状態や口腔状態などの医学的視点、姿勢や活動的視点、食物形態や栄養状態など栄養療法的視点からの多面的評価や介入が必要であることが本研究で明らかとなった。本研究がKTバランスチャート開発の根幹である。



## KT バランスチャートの信頼性と妥当性

玉名地域保健医療センター  
前田 圭介



KT バランスチャートは食べる支援に重要な13の多面的な評価項目で構成されています。これら全てを評価し、対象者の強みと弱みを明らかにしてケアプランを考え介入に役立てていくというのが、包括的な食べる支援を行うために必要なプロセスと考えられます。

医療介護の領域で全国的に用いられる評価ツールとして認められるためには、「信頼性と妥当性」が検証されたツールであることが不可欠です。信頼性とは、再現性を意味し、検査する人が変わっても或いは同じ人が複数回行ってもある程度同じ結果になることです。妥当性とは、そのツールが目的としているものを正しく評価できているのかどうかということです。KT バランスチャートは食支援スペシャリストが議論を重ねて作り出したツールではありますが、発表当時はまだこの「信頼性と妥当性」について検証されていませんでした。このたび「信頼性と妥当性」を検証し、信頼のおけるツールであることがはっきりしましたので簡単に解説します。

[信頼性について]

KT バランスチャートの信頼性を証明するために私たちは検者内信頼性、検者間信頼性、内部一貫性という3点について検討しました。対象者は介護施設に1か月以上入所している65歳以上の高齢者です。この3点の信頼性はすべてとても良好な結果でした。

[妥当性について]

KT バランスチャートは食支援に必要な要素を包括的にみているかという妥当性について検証しました。115名の介護施設入所者をKT バランスチャートで評価し、そのスコアが摂食嚥下機能、日常生活自立度、栄養状態、認知機能と関連しているのかどうかを検討しました。KT バランスチャートの合計スコアはこれら4つの外的基準のすべてと相関していることが分かりました。

[掲載されたジャーナルについて]

私たちが今回行った研究の成果は、アメリカ老年医学会雑誌 (Journal of the American Geriatrics Society) というジャーナルに掲載されています。このジャーナルは老年医学系雑誌としては高ランクのジャーナルですので、本研究の質や結果が非常に高く評価されたものだと思います。

[さいごに]

2015年秋に書籍「口から食べる幸せをサポートする包括的スキル」で発表され現在国内でも注目を集めているKT バランスチャートは、臨床応用する価値が高いと感じています。高齢者の食べる支援には、適正な評価、それをもとにケアプランを検討、介入、定期的な再評価といったケアサイクルが重要です。KT バランスチャートをつかって評価と再評価を多面的に包括的視点で行いましょう。KT バランスチャートは信頼性と妥当性が検証済みですので、臨床での活用以外に研究でも用いることができます。日本全国の食支援の質が向上するような臨床研究も期待されます。

[引用文献]

Maeda K, Shamoto H, Wakabayashi H, Enomoto J, Takeichi M, Koyama T. (2016). Reliability and Validity of a Simplified Comprehensive Assessment Tool for Feeding Support: Kuchi - Kara Taberu Index. Journal of the American Geriatrics Society. DOI: 10.1111/jgs.14508.



## 熊本地震からの復興と実技セミナー開催に至るまで

桜十字病院  
建山 幸



平成 28 年 11 月 5 日に、第 40 回基礎&スキルアップセミナーを無事、熊本で開催することができました。参加者 71 名という大規模なセミナーを開催することができたのは、震災から繋がっていった全国の KTSM メンバーの支えがあったからです。セミナー開催にあたり、人の優しさに触れ、人と人が繋がることの大切さを、改めて深く感じる事ができました。



### 熊本地震の爪痕

4 月 14 日、16 日に震度 7 の地震に 2 度襲われた熊本。震源地から 10Km 圏内にある当院も、被災しました。患者様やスタッフに、人為的な大きな被害が無かった事に救われましたが、天井からの水漏れや停電などが起こり、鳴りやまない地響きと余震の中で、誰もが恐怖と闘いながら過ごしていたことを、今も鮮明に覚えています。中でも被害が大きかったのが、リハビリテーション室です

天井が崩落し、使用が出来なくなりました。震災後、病院 1 階ロビー横に小さなリハビリテーション室を設け、そこでリハビリを行っていました。震災から半年後の 10 月 24 日、セミナー開催 13 日前に、改装されたリハビリテーション室が稼働を始め、当院全ての機能が元に戻り、セミナーを開催することができました。

### 仲間がいること

熊本セミナーを開催するにあたり、小山理事長、竹市副理事をはじめとする、15 名のアドバイザーが全国から駆けつけてくれました。アドバイザーの中には、宮城県気仙沼市から参加をしてくれた 4 名の仲間たちがいました。東日本大震災を経験していた彼らは、熊本地震直後から熊本へ励ましのメッセージを送ってくださり、避難生活の中で彼らのメッセージに心救われました。そして彼らは熊本支援の為、熊本セミナーにアドバイザーボランティアとして参加することを決めてくれました。食支援を通じて、気仙沼と熊本が繋がるセミナーができる。復興と同時に、口から食べる事への支援の輪が広がっていく事の喜びを感じました。起きてはほしくない自然災害。でも、起きてしまうのが自然災害です。熊本地震が発生した際、全国の KTSM メンバーが支援物資を送って下さいました。普段は遠くに離れている仲間たちですが、いつも繋がっているのだと心強く感じました。そして、仲間を繋いでくださっている小山理事長に、深く感謝を申し上げます。



<スクリーニング評価>



<スプーン操作>



<事例紹介>

### 心が動くとき

実技セミナーには、一般参加者に交じり、当院のコメディカルも多数参加させて頂きました。セミナーの中で、参加したスタッフからは、食支援技術を学ぶ事も貴重な学びとなりましたが、患者体験をしたことで、「患者の立場に立っていなかった事に気づかされた。」「不適切なケアや対応をやっていた。」と、患者の立場を知る（体験する）重要性を学んだと声が上がりました。そして、キラキラとした目で「即、実践していきます!」と、参加したスタッフが声を掛けてくれました。患者体験をすることで、ケアには不快なこと、心地良いことがあるという事を知り、本当の意味で患者の立場を理解した瞬間、明日への実践に繋がるのだと思いました。心が動いたスタッフたちと一緒に、患者様の為に自分に何が出来るのか、皆と何が出来るのかを考え、食支援を実践していきたいと思えます。熊本セミナーに参加して下さった総勢 71 名の受講生が、患者の立場に立った食支援を実践し、全国で一人でも多くの方々が、口から食べる幸せを取り戻し笑顔になって頂ければ幸いです。



NPO 法人口から食べる幸せを守る会  
KTSM 第 40 回実技セミナー in 熊本

平成 28 年 11 月 5 日 桜十字病院





# 第5回 NPO 法人口から食べる幸せを守る会 全国大会のお知らせ

申し込み受付中

【定員】450名

【参加費】2017年度KTSM会員：5,000円 非会員：7,000円（※会員でお申込みの場合は先に会員手続きをお願いします。）

【申し込み方法】下記「NPO法人口から食べる幸せを守る会®」のホームページで詳しい申し込み方法をご案内しています。

ご不明な点は、事務局メール（下記お問い合わせ先を参照）にご連絡ください。

<http://ktsm.jimdo.com>

●定員となり次第、締め切らせていただきます。ご希望に添えない場合はご容赦ください。●お申込み、ご入金後、メールにてEチケットをお送りします。当日はEチケットにて受付を行いますのでご持参ください。ご入金後の返金は致しかねますのでご了承ください。●台風等により開催中止（もしくは延期）となった場合は、7月1日（土）10時に上記のKTSMホームページでアナウンスします。

プログラム

時間	ホール	
11:30~		受付開始
12:50~13:00		オリエンテーション
13:00~13:05		開会挨拶
13:05~13:40	基調講演	<p>「食べる支援の進化を目指して」</p> <p>●演者 小山 珠美氏 NPO法人口から食べる幸せを守る会® 理事長・看護師</p> <p>●座長 社本 博氏 南相馬市立総合病院・医師</p>
13:40~14:15	教育講演	<p>「食べる支援で実現する高齢者の包括的評価（CGA）とりハ栄養の統合」</p> <p>●演者 前田 圭介氏 玉名地域保健医療センター・医師</p> <p>●座長 黄金井 裕氏 日本医科大学多摩永山病院・言語聴覚士</p>
14:15~14:35		昼休憩
14:35~15:55	シンポジウム①	<p>「医療における食べる支援の課題と展望 ～医師・歯科医師の立場から～」</p> <p>●シンポジスト 赤石 節夫氏 三浦病院 副院長・医師</p> <p>大坂 巖氏 静岡県立静岡がんセンター緩和医療科・医師</p> <p>古屋 聡氏 NPO法人口から食べる幸せを守る会® 副理事長/山梨市牧丘病院・医師</p> <p>藤本 篤士氏 医療法人溪仁会札幌西円山病院・歯科医師</p> <p>●座長 塩田 芳享氏 ジャーナリスト 元NHKディレクター</p> <p>小山 珠美氏 NPO法人口から食べる幸せを守る会® 理事長・看護師</p>
15:55~16:15		休憩
16:15~16:55	特別講演	<p>「肺炎患者が食べ続けるために」（仮）</p> <p>●演者 寺本 信嗣氏 和光駅前クリニック・医師</p> <p>●座長 榎本 淳子氏 玉名地域保健医療センター・看護師/社会福祉士</p>
17:00~18:20	シンポジウム②	<p>「食べる支援の進化を目指して ～SEEDからNEEDへ職種の融合～」</p> <p>●シンポジスト 高橋 瑞保氏 山形県立中央病院・管理栄養士</p> <p>為季 周平氏 姫路独協大学・言語聴覚士</p> <p>竹市 美加氏 NPO法人口から食べる幸せを守る会® 副理事長・看護師</p> <p>当事者ご家族</p> <p>●座長 社本 博氏 南相馬市立総合病院・医師</p> <p>一瀬 浩隆氏 あい訪問歯科クリニック・歯科医師</p>
18:20~18:30		閉会挨拶
19:15~21:00		懇親会（同会場）

企業展示

⇒横浜駅からのアクセス

- ①JR 京浜東北・根岸線快速「磯子」行き、または横浜市営地下鉄ブルーライン「湘南台」行きに乗車  
いずれも桜木町駅下車（徒歩約10分）
- ②京急本線「浦賀」行きに乗車  
日ノ出町駅下車（徒歩約10分）

⇒羽田空港からのアクセス

- 京浜急行 空港線乗車 京急蒲田駅で乗り換え（直通もあり）「浦賀」、「三崎口」方面行きの「快特」または「特急」乗車
- ①横浜駅でJR 京浜東北・根岸線快速「磯子」行き、または横浜市営地下鉄ブルーライン「湘南台」行きに乗車  
いずれも桜木町駅下車（徒歩約10分）
- ②横浜駅で京急本線「浦賀」行きに乗車  
日ノ出町駅下車（徒歩約10分）

お問い合わせ先 大会事務局

「NPO法人口から食べる幸せを守る会®」事務局内  
メール：npoktsm@gmail.com



主催：NPO 法人口から食べる幸せを守る会® (KTSM)  
共催：株式会社クリニコ 日清オイリオグループ株式会社 ラックヘルスクエア株式会社 渡辺商事株式会社